

福島工業高等専門学校	開講年度	平成29年度(2017年度)	授業科目	数学
科目基礎情報				
科目番号	0018	科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義・演習	単位の種別と単位数	履修単位: 3	
開設学科	ビジネスコミュニケーション学科	対象学年	2	
開設期	通年	週時間数	3	
教科書/教材	新編 数学II (数研出版), 3TRIAL 数学II+B (数研出版)			
担当教員	渡辺 俊彦			
到達目標				
① 整式の除法、分数式の計算ができる。2次方程式の解と係数の関係を理解し、また因数分解を用いて簡単な高次方程式が解ける。 ② 三角関数の相互関係、三角関数のグラフ、三角関数の加法定理を理解する。 ③ 指数関数、対数関数を理解し、計算ができる。 ④ 簡単な関数の微分、積分が計算でき、それらの応用ができる。				
ループリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1	各授業項目の内容を理解し、応用できる。	各授業項目の内容を理解している。	各授業項目の内容を理解していない。	
評価項目2				
評価項目3				
学科の到達目標項目との関係				
学習・教育到達度目標 (B)				
教育方法等				
概要	① 整式の除法、分数式の計算ができる。2次方程式の解と係数の関係を理解し、また因数分解を用いて簡単な高次方程式が解ける。 ② 三角関数の相互関係、三角関数のグラフ、三角関数の加法定理を理解する。 ③ 指数関数、対数関数を理解し、計算ができる。 ④ 簡単な関数の微分、積分が計算でき、それらの応用ができる。			
授業の進め方・方法				
注意点	予習・復習をかかさない。教科書の練習問題を必ず解き、自力でできなかつた問題は解決しておくこと。 定期試験の成績70%, 課題・小テスト、授業への参加状況等30%で総合的に評価し、60点以上を合格とする。			
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週 式と計算	3次式の展開と因数分解、二項定理	
		2週 式と計算	整式の割り算、分数式とその計算、恒等式	
		3週 等式・不等式の証明	等式の証明、不等式の証明	
		4週 複素数と2次方程式の解	複素数とその計算	
		5週 複素数と2次方程式の解	2次方程式の解、解と係数の関係	
		6週 高次方程式	剰余の定理と因数定理	
		7週 高次方程式	高次方程式	
		8週 点と直線	直線上の点、平面上の点	
後期	2ndQ	9週 点と直線	直線の方程式、2直線の関係	
		10週 円	円の方程式、円と直線、2つの円	
		11週 軌跡と領域	軌跡と方程式	
		12週 軌跡と領域	不等式の表す領域	
		13週 三角関数	角の拡張、三角関数、三角関数のグラフ	
		14週 三角関数	三角関数の性質、三角関数を含む方程式・不等式	
		15週 三角関数	問題演習	
		16週		
後期	3rdQ	1週 加法定理	三角関数の加法定理	
		2週 加法定理	加法定理の応用	
		3週 指数関数	指数の拡張	
		4週 指数関数	指数関数	
		5週 対数関数	対数とその性質	
		6週 対数関数	対数関数	
		7週 対数関数	常用対数	
		8週 微分係数と導関数	微分係数	
後期	4thQ	9週 微分係数と導関数	導関数とその計算、接線の方程式	
		10週 関数の値の変化	関数の増減と極大・極小	
		11週 関数の値の変化	関数の増減・グラフの応用	
		12週 積分法	不定積分	
		13週 積分法	定積分	
		14週 積分法	定積分と図形の面積	
		15週 積分法	問題演習	
		16週		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				

